



Sailing and Trailering Guide

『Hobie cat Sailing and Trailering Guide』より抜粋

ラダーのチューニング

ラダーブレードのレーキを調整することができます。

レーキ量は、ティラーの操作フィーリングに影響をおよぼします。

基本的にブレードのレーキがより前方にあればティラーに受ける抵抗を低減し、前方のレーキが少ないとティラーに受ける抵抗が増します。

好みの問題ですが、快適なフィーリングを得るにはブレードを調整し、自然なフィーリングに近づけることで最良のステアリングを得ることができます。

以下は、Hobie16の部品で図示されていますが、他の艇種も調整方法は同じです。

- 1) ラダーのレーキ調整を行う第1ステップは、最初のレーキを決めることからです。

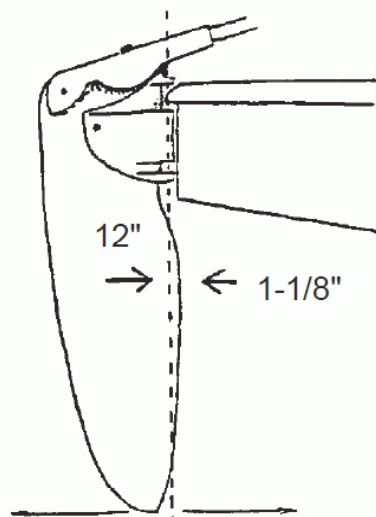
ラダーブレードを下ろしてロックした状態で行います。

定規または水系を使用して、ラダーピンの中心線を下方に延長してブレードの前縁に鉛筆で線を引きま

す。
鉛筆の線に沿ってキャスティング下端から12インチ（約30cm）下の位置でブレードの最前端までの距離を測定します。

ラダーブレードのレーキ量は、工場出荷時に1-1/8インチ（28.6mm）に設定されています。

この量は平均的なセーラーに最適であり、調整を始めるのに良い初期値です。



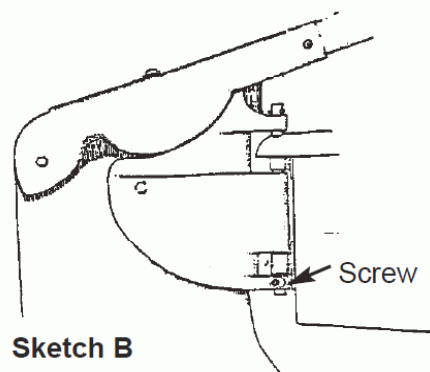
- 2) レーキ量を調整する時は、ラダーのロックを解除してから行います。

Aft for more pull on
the tiller

Forward for less
pull on the tiller

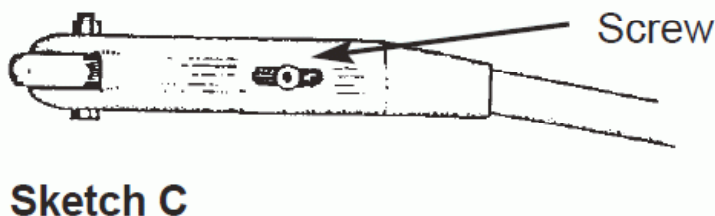
- 3) ラダーブレードのレーキを前方向に増したい場合は、3/16インチのアーレンレンチを使用して、レーキ調整ネジを反時計回りに回します。(図B参照)

再びラダーピンの中心線から新たな線を引いてレーキの増加を確認します。鉛筆の線からブレード最前端までの距離を測定します。
希望する前進レーキ量が得られるまで調整と測定を繰り返します。



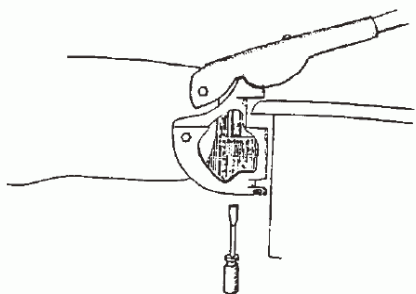
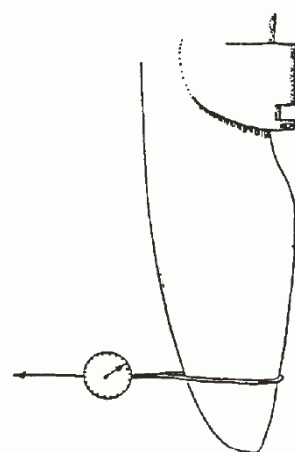
- 4) 前進レーキの量を減らしたい場合は、3/16インチのアーレンレンチを使用して調整ネジを時計回りに回します。上記3)の手順でレーキの減少を確認します。

- 5) 次に、ラダーをロアキャスティングに沿って押さえながら、ティラーアームをラダーハウジングに慎重に掛けます。
ティラーアーム上部の調整ネジを3/4回転ほど緩めます。
調整ネジを（船首に向かって）手前に止まるまでスライドさせてから締めます。(図C参照)



- 6) ホビーキャットのラダーブレードは、ブレード最下部から7インチ上の位置で17~26ポンドの力がかかるとロックが外れるように設定されています。
レーキを変更したら、ロック解除のテンションを再チェックする必要があります。

テンションは、ハウジングの3/4インチ内部ネジを回して調整できます。ネジを回すことで内部のバネのテンションを変えます。時計回りに回すとテンションが増加し、反時計回りに回すと減少します。



訳：HOBIE CAT新潟フリースト